

## 平成25年2月期 売上客数前年比-確報-

■ 全社		3月	4月	5月	第1四半期	6月	7月	8月	第2四半期	上期	
既存店	売上	15.7	2.2	-4.6	3.7	-0.6	-3.8	-3.5	-2.6	0.6	
	客数	13.3	0.7	-5.3	2.1	-3.2	-6.5	-4.4	-4.8	-1.4	
	客単価	2.0	1.4	0.7	1.6	2.6	2.8	0.9	2.2	2.0	
全店	売上	14.3	0.8	-6.1	2.3	-1.7	-4.9	-4.7	-3.7	-0.6	
	客数	11.9	-0.6	-6.8	0.7	-4.2	-7.5	-5.7	-5.8	-2.6	
	客単価	2.1	1.4	0.7	1.6	2.6	2.8	0.9	2.2	2.0	
店舗数	新店	3	2	1	6	0	0	3	3	9	
	退店	2	1	4	7	0	1	9	10	17	
	店舗数	1,100	1,101	1,098	1,098	1,098	1,097	1,091	1,091	1,091	
		9月	10月	11月	第3四半期	12月	1月	2月	第4四半期	下期	通期
既存店	売上	-0.2	-8.9		-5.0					-5.0	-0.8
	客数	-0.3	-9.1		-5.1					-5.1	-2.3
	客単価	0.1	0.2		0.0					0.0	1.5
全店	売上	-1.2	-9.4		-5.8					-5.8	-1.9
	客数	-1.4	-9.8		-5.9					-5.9	-3.4
	客単価	0.2	0.4		0.1					0.1	1.5
店舗数	新店	7	8								
	退店	4	1								
	店舗数	1094	1101								

※既存店---13ヶ月以上稼働している店舗が対象とし、その店舗の前年同月との対比。

※月初発表の前年比数値は速報値。中旬以降、確報値を掲載します。

### ●2012年10月度 概況（下記コメントは速報値の数字をベースにしています）

当月の全社全店売上前年比は▲9.6%、全社既存店売上前年比は▲9.0%だった。

当月は、前年に対して土曜日と日曜日が一日ずつ少なかった上、中旬まで気温が低下せずブーツをはじめとした秋冬物が苦戦し、既存店売上が前年に対して大幅な減少となった。

曜日まわりの影響は6ポイント程度。

部門別には、紳士靴からスニーカーまで全ての部門が前年売上をクリアできなかった。

PBおよびNPBの販売状況は、紳士靴部門では「ハイドロテック」ブランド全般、「セダークレスト」、

「バイオフィッター・フォー・メン」などが相変わらず好調。新規投入の「テキサコ」は絶好調。

婦人靴部門では、OL向けの「セダークレスト・キャリアビュート」が好調なほか、「バイオフィッター」全般、

「セダークレスト・スタイルアップ」などが販売良好。NPBでは「エルプラネット」、「MCマリ・クレール」、

「ジッパー」が好調。また990プロジェクト、1990プロジェクトが売上を伸ばした。

子供靴は「バイオフィッター」のジュニア商品が売れ筋上位へ。同ブランドの「光る靴」や「直線勝負」が好調。

スニーカー部門では「バイオフィッター」が好調だったほか、「セダークレスト・Wフェイス」、「セダークレスト・デュオモーションズ」が販売良好だった。

販売点数は減少、販売単価は2ポイント程度増加した。

●新規出店 8

●退店 1

●店舗数(月末)

チヨダ(CY):	133
東京靴流通センター+サ・シューズ(TSRC):	579
シューブラザ(SP):	350
SPC:	36
セダークレストショップ(CC):	3
シューパレッタ:	0
合計	1,101